

# 喜多龍一 道議会議員(札内新北町) 第28代 北海道議会議長に選出される

## 一球入魂

5月17日に開催された北海道議会臨時議会で、幕別町の喜多龍一 道議会議員が、道議会議長に選出されました。

北海道議会の前身である北海道会（明治34年から昭和22年）の15人の議長を含め、幕別町から初の道議会議長が誕生しました。（十勝管内からは2人目）

喜多議長に議長就任の心境などをお聞きしましたのでご紹介します。



### 議長就任にあたっての決意

責任の重さを改めて感じています。道議会の役割をどうはたすか、議員力、議会力を高め、議論・提案をしていかなければいけないと考えています。全国議長会の副会長にも選ばれ、自分でスケジュールを管理できないくらい多忙ですが、北海道のため最大限の力を発揮したいと思っています。

### 議長の仕事に対する姿勢は

「一球入魂」です。北海道が抱える課題や議長としての公務など、どんなことにも、一つ一つに一球入魂しています。

昔、野球をしていて、キャッチャーでした。球場全体を見わたしてプレーするという思考回路が、今の仕事に役に立っていると感じています。

議長の仕事は

今は、ほとんど仕事に興味の状況です。やりたいことは一杯あるのですけどもね。

### 最後に町民の皆さんに一言

5月27日に起きたJR石勝線の火災事故に遭いました。脱出するとき、みんな自分のことで精一杯の中で、お互いを気遣い脱出しました。みんなで気持ちと力を合わせ頑張ったら必ず先は見えると感じました。町民の皆さんと力を合わせれば、どんなことでも乗り越えていけると思っています。

### 今、幕別町がすごい

余談ですが、議長就任のあいさつ回りで、JA北海道中央会の飛田会長と話をしたとき、「今、幕別町がすごい」という話になりました。福島千里選手や山本幸平選手、高木美穂選手などのオリンピック選手や札幌市の上田市長など、幕別町出身の方が活躍されており、私も、幕別町民として頑張ろうという気持ちと高揚感を感じたひとときでした。

## 幕別町の 観光振興を担当します

6月1日付けで北海道から伊藤雅実さんが経済部観光振興担当参事として着任されました。（派遣期間は平成25年3月まで）

伊藤参事は、本別町出身の45歳、趣味はたくさんあるようですが、最近では、草刈りで汗を流すことだそうです。

北海道では、産業振興分野の仕事が長く、「町の観光に役立つ情報の収集や、農業と観光との連携、そして「食」の魅力向上など、幕別町ならではの観光を推進するため、新たな視点でまちを見つめていきたい」と話していました。

